

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度分】

【内容】

- 01 栄養・食生活
- 02 身体活動・運動
- 03 休養
- 04 喫煙
- 05 飲酒
- 06 歯・口腔
- 07 がん
- 08 循環器疾患
- 09 糖尿病
- 10 COPD(慢性閉塞性肺疾患)
- 11 こころの健康
- 12 高齢者の健康
- 13 健康を支え、守るための社会環境の整備
- 14 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

北海道上川総合振興局 保健環境部 富良野地域保健室

※令和7年(2025年)度作成

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

01 栄養・食生活

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○栄養・食生活改善などの対策	富良野市	◎						妊婦・成人の肥満、肥満傾向のこどもの割合が高い	健康診査・特定健診結果に基づいた栄養指導の実施
	上富良野町	◎						食生活改善推進員の自主的活動に向けた育成が課題です。	・現行の食生活改善推進委員会は平成31年度をもって閉会となったため、養成講座により新たに食生活改善推進員の育成を行います。
	中富良野町	◎						成人・高齢者において、肥満者が多く、糖尿病や高血圧のリスクを併せ持つ者の割合が多い。	生活習慣病の予防のため、健診や健康教育を通じて、適切な食生活の普及啓発を行う。
	南富良野町	◎						メタボ該当者割合が北海道と比較して高い。	肥満の個別指導の強化を図る。
	占冠村	◎						メタボ及びメタボ予備群が多く、高血圧有病者が多い。	保健指導や啓発活動を通して、減塩対策や糖質・脂質摂取過多についての予防対策を行う。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	保健所	◎						肥満者の該当比が高い。バランスのとれた食事、適切な量と質について普及啓発していく必要があります。	バランスのとれた食事、適切な量と質に関する普及啓発やほっかいどうヘルスサポートレストランの登録増加等、環境整備の充実を図ります。また、関係機関と連携を図りながら推進します。
○富良野圏域地域・職域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査における栄養・食生活改善の推進	富良野市	○						協会けんぽ被扶養者への特定健診・がん検診の周知。	連絡会を活用した健診の周知等について検討。
	占冠村	◎						メタボ及びメタボ予備群が多く、高血圧有病者が多い。	保健指導や啓発活動を通して、減塩対策や糖質・脂質摂取過多についての予防対策を行う。
	保健所	○						市町村等が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	市町村等が行う健診・相談時の保健指導や連携事業等での情報発信を検討する。
○特定給食施設等への支援	保健所	◎						利用者に応じた適切な食事提供や栄養指導等の充実を図ります。	利用者に応じた適切な食事提供や栄養指導等のための必要な支援を行います。
○指導者への育成支援	保健所	◎						行政及び給食施設栄養士等による住民や施設利用者等への栄養指導の充実を図ります。	研修会及び給食施設指導を通して事業の推進を図ります。
○食環境の整備	保健所	◎						ほっかいどうヘルスサポートレストラン登録件数が少ない。栄養成分表示の適切な表示、安全に活用できるような環境整備が必要。	所内連携により事業者へ登録勧奨を行うとともに、市町村、関係機関等による事業周知を図ります。事業者に向けた栄養成分表示の相談対応、住民への情報提供を行います。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

02 身体活動・運動

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○身体活動・運動習慣定着化の推進	富良野市	◎						男性の30歳代と女性の20～50歳代の平均歩数は全国平均を下回っている。	ふらの健康ポイント事業を活用しながら運動習慣の定着を図る。
	上富良野町	◎						特定健康診査40～50歳代の健診受診者の増加。	・特定健診受診勧奨と未受診者の実態把握を行います。 ・個々の健診結果に基づいた重症化予防の保健指導を行います。 ・動脈硬化予防健診の実施します。
	中富良野町	◎						若年健診・特定健康診査(40～50歳代)の受診率が低迷している。	・若年者の受診率が低下している要因分析を行う。 ・健診受診者に発症予防と重症化予防の保健指導を実施し、動脈硬化を予防する。
	占冠村	◎						KDBデータ(R6)1日30分以上の運動なし57.0%と、運動習慣のない者が半数以上いる。	運動の必要性について、啓蒙活動を行う。
	富良野市(コミュニティ推進課)	○						コロナ禍により停滞した運動習慣の定着。	関係機関と連携し、運動習慣の定着とスポーツ活動の推進を図ります。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	中富良野町教育委員会	◎						ソフトメニューの充実・継続、対象となる各年代の減	各種運動教室などのソフト事業の実施、福祉課と連携した子供から高齢者まで対象とした事業を行う等、町民がスポーツと関わる機会の増加
	南富良野町教育委員会	◎						学校内だけの取り組みでは限界があり、スポーツクラブ(少年団)の種類も少ないのが現状。	運動時間(学校及び家庭)の確保及び啓発を図り、社会体育事業との連携強化に努める。
	保健所	◎						肥満者の該当比が高い、日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けて普及啓発していく必要があります。	日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けた普及啓発を行っていきます。
	○富良野圏域地域・圏域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査における健康づくり運動の推進	占冠村	○						協会けんぽ被扶養者で新規透析導入となった者がいる。
南富良野町商工会		◎							
保健所		○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	市町村等が行う健診・相談時での保健指導や連携事業等での情報発信を検討します。
○運動しやすい環境づくりの推進	富良野市	◎						市民が積極的に運動できるようさらなる環境づくりが必要。	関係部局や関係機関と連携を図りながら健康ポイント事業、ウォークパルなまちづくりの推進。
	上富良野町	○						冬期間の活動量の減少が課題です。	冬期間の健康づくりを社会教育等と連携し実施します。
	占冠村	○						すこやかロードを設置しているが利用者が少ない。	運動施設がないため、家庭でできる運動(プラス10)等を普及する取り組みをする。
	富良野市(コミュニティ推進課)	◎						老朽化した施設・設備の改修・更新。	計画的にスポーツ環境の整備を図ります。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	占冠村教育委員会	◎						参加者の固定化	検討中
	中富良野町教育委員会	◎						施設・器具の維持管理及び整備	文化施設に併設していた運動機能(ICTGYM)を集約し、町総合スポーツセンターの機能向上を図っていく。
	保健所	◎						すこやかロード認定事業の新規申請と活用に向けた働きかけが必要です。	すこやかロードの新規申請と活用について働きかけを行うとともに、利用可能運動施設についての情報発信を行います。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

03 休養

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○健康づくりのための睡眠指針や休養指針等、睡眠や休息についての普及啓発	富良野市	◎						健診受診者の睡眠による休養感を得られている者の割合は76.2%でR1以降減少傾向で国の目標値を下回っている。	R6年度に睡眠をテーマに健康セミナー実施。今後も実態把握を行いながら状況に応じて対策。
	上富良野町	○						・レセプト診療状況。 ・40代男女のうつ病受診者が多い。	・広報等で富良野保健所 精神保健相談の周知を行います。 ・こころのライブラリーを開設します。
	中富良野町	◎						睡眠や休息に関する実態把握が不足している。	生活習慣病の予防のため、全ての世代へ適切な睡眠や休息の必要性の普及啓発を行う。必要に応じて個別の保健指導を行う。
	南富良野町	◎						特に課題はない。	現行の事業を継続する。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)睡眠不足は、20.9%であった。	広報等で睡眠指針について啓蒙していく。
	南富良野町商工会	◎							
	保健所	○						睡眠による休養を十分に取れていない者の割合が4人に1人います。	地域や職域等と連携し、住民に対し、質の高い休養方法についての情報提供を行います。
○地域・職域連携推進事業の推進	占冠村	○						働き世代へ伝える機会をつくれていない。	協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診を実施を継続。
	上富良野町	○						特になし	職場や関係機関への継続した学習(心の健康講座)を実施します。
	占冠村	○						働き世代へ伝える機会をつくれていない。	協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診を実施を継続。
	南富良野町商工会	○							
	保健所	◎						働きざかりの健康づくりに対する本人及び雇用者への意識付けが必要です。	地域・職域連携会議等を通じて本人・家族・雇用者に対して意識啓発を行う体制づくりを行います。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

04 喫煙

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○喫煙の健康影響に関する情報提供	富良野市	◎						健診受診者の喫煙率は国とほぼ同じで北海道よりは低い状況だが、妊娠中の喫煙率が国の現状値より高値。	保健事業等において喫煙の健康影響に関する情報提供を継続して実施。
	上富良野町	◎						40歳代の喫煙率が高い。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知を行います。
	中富良野町	◎						喫煙率が国、同規模自治体と比較し高い。	広報などを通じて、喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を行う。
	上富良野町教育委員会	○						特になし	現行の事業を継続する。
	占冠村	◎						健康教室を実施しているが参加者が固定している。	喫煙の健康影響について教室以外の媒体について検討する。
	保健所	◎						喫煙者の該当比が男女とも全国より高い。喫煙が及ぼす健康への影響など喫煙に関する普及啓発や受動喫煙防止等の対策が必要です。	健康影響に関する普及啓発や望まない受動喫煙防止対策を推進します。
	○富良野圏域地域・職域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査におけるたばこ対策の推進	占冠村	○						健診当日はたばこ対策の推進について取り組んでいない。
○未成年者喫煙防止対策の推進	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	市町村等が行う健診・相談時での保健指導や連携事業等での情報発信を検討します。
	占冠村	◎						健康教室を実施しているが参加者が少ない。	学校と連携がとれるよう協議していく。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	占冠村教育委員会	○							
○妊産婦の喫煙率の低下に向けた取組の推進	保健所	◎						学校主体、関係機関との連携により喫煙が及ぼす健康への影響について知識の向上を図ることが必要です。	各関係機関が喫煙防止教育等情報発信、普及啓発により未成年者の喫煙に関する知識向上を図ります。
	富良野市	◎						妊娠中の喫煙率が国の現状より高値。	母子手帳交付時、乳幼児健診の保健事業において禁煙の助言や情報提供。
	上富良野町	◎						少数の妊婦が喫煙および受動喫煙しています。	・届出時および各種相談時において、喫煙および受動喫煙が母子にもたらす危険性について保健指導を実施します。
	中富良野町	◎						特に課題は無い。	母子相談や各種健診などを通じて、タバコに関する保健指導を個別に実施する。

	南富良野町	◎						特に課題はない。	現行の事業を継続する。
	占冠村	◎						妊産婦に喫煙者はいないが、パートナーが喫煙している者がいる。	母子手帳交付時に喫煙の影響について、伝えていく
○たばこをやめたい人に対する禁煙支援	富良野市	◎						禁煙外来の紹介は実施しているが積極的な取組は特になし。	保健指導時に、必要に応じて禁煙外来紹介。
	上富良野町	○						40歳代の喫煙率が高い。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知を行います。
	中富良野町	◎						喫煙率が国、同規模自治体と比較し高い。	各種健診などを通じて、タバコに関する保健指導を個別に実施する。
	保健所	○						喫煙者の禁煙希望者は少ない。はじめからたばこを吸わない取組が必要です。	たばこ対策チームで、必要に応じて禁煙希望者には禁煙外来を紹介する。
○受動喫煙防止対策の推進	富良野市	○						特になし。	普及啓発の継続。
	中富良野町	○						実態把握が必要。	広報などを通じて、喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を行う。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)喫煙率15.1%と国よりも1%多い。	受動喫煙防止のための教室を継続していく。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	上富良野町商工会	◎							
	保健所	◎						喫煙者の該当比が男女とも全国より高い。喫煙が及ぼす健康への影響など喫煙に関する普及啓発や受動喫煙防止等の対策が必要です。	望まない受動喫煙防止対策を推進します。ほっかいどうきれいな空気の施設登録推進を図ります。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

05 飲酒

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○市町村や関係機関・団体と連携し、生活習慣病や依存症リスクとしてのアルコールの健康被害について情報提供や普及啓発	富良野市	◎						健診において生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合は11.2%で目標の10%を上回っている。	健診結果に基づいた適度な飲酒の個別指導の実施。 適度な飲酒に関する教育・啓発の実施。
	占冠村	◎						関係団体は村内にないが、アルコールの健康被害について伝える機会がすくない。	広報等を活用し、広くアルコールの健康被害について普及啓発していく。
	保健所	○						生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が男女共に増加しています。妊娠中の飲酒の割合は全道に比べ低いです。	飲酒が及ぼす生活習慣病等への影響や妊娠中の飲酒による合併症や胎児発育への影響に関する普及啓発を継続して実施します。 適正飲酒について普及啓発を図ります。 支援者への依存症研修会等周知します。
○酒害相談の窓口を周知し、アルコールによる健康課題のある住民の早期支援	富良野市	○						特になし	保健所の相談事業の紹介、広報等での周知を継続。
	占冠村	◎						アルコールを多量に摂取していると自覚している者が少ない。	保健所の相談窓口の紹介。
	保健所	○						飲酒による健康課題のある住民が相談窓口を把握出来るような周知が必要です。	パンフレットや広報等の活用による相談窓口の周知及び相談体制の整備を図ります。
○未成年の飲酒防止のための学校保健との連携	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	占冠村教育委員会	○							
	保健所	○						未成年の飲酒に関する課題把握が必要です。 飲酒による健康被害に関する教育機関との情報共有と連携体制が必要です。	飲酒による健康被害等の情報提供を行いながら教育機関との連携を図ります。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

06 歯・口腔

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○歯科保健の普及啓発の推進	富良野市	◎						成人の歯周病検診の受診率が低い。	ライフステージに応じた歯科保健対策の推進。
	上富良野町	◎						3歳児健診以降のう歯のある者の増加、40歳代で歯科の状態が悪化している者が多い。	妊娠前から成人期まで各ライフステージに応じた口腔ケアの意識づけを行います。
	中富良野町	◎						乳幼児検診でのう歯の状況は横ばい、就学児以降のう歯の増加。	各種健診・相談時に情報提供を行う。
	南富良野町	◎						成人の口腔内状況の実態が不明です。	歯科検診の普及を図ります。
	占冠村	◎						成人歯科検診を受診した者のうち、歯周病を有する者は25.0%であった。	口腔内のケアについて、普及啓発を行う。
	上富良野町教育委員会	○						特になし	現行の事業を継続する。
	保健所	◎						むし歯のない3歳児の割合は全道より高く、フッ化物洗口についてもすべての市町村で実施されていますが、その後の歯科検診等の状況把握、啓発を行う必要があります。	いい歯のコンクールで歯科保健対策について普及啓発を図ります。 市町村や関係機関と連携しながら、ライフステージに応じた歯科保健対策の推進を図ります。
○フッ化物洗口普及事業の推進	富良野市	○						特になし	保育所・幼稚園・小中学校におけるフッ化物洗口の継続。
	上富良野町	◎						3歳児健診以降のう歯のある者の増加。	・乳歯・乳歯の歯科保健指導を行います。 ・口腔検診、フッ素塗布を行います。 ・フッ素洗口事業を行います。
	中富良野町	◎						就学児からう歯が増加。	保育園、小学校でフッ化物洗口を実施、歯磨き習慣の定着を図る。
	占冠村	○						保育所・学校で取り組んでいる。	取組みの継続
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	歯科医院と連携し、継続して実施する。
	南富良野町教育委員会	◎						特に課題はない。	歯科診療所と連携し、継続して実施する。
	占冠村教育委員会	◎						特になし	特になし
	保健所	◎						全市町村でフッ化物洗口は導入済みです。	今後も継続する。
○成人を対象とした歯科対策の推進	富良野市	◎						成人の歯周病検診の受診率が低い。	歯周病検診の周知と受診勧奨の継続。
	上富良野町	◎						40歳代で歯科の状態が悪化している者が多い。	・30歳から歯周疾患検診を行います。 ・特定健診時歯科相談を行います。 ・特定健診・保健指導時に喫煙、糖尿病患者へ保健指導を行います。
	中富良野町	◎						喪失歯が多い。	歯周疾患検診を実施する。また、各種健診事後の保健指導栄養指導の機会を通じて、個別に口腔の健康を保つための指導、情報提供を行う。
	南富良野町	◎						歯周病検診・後期高齢者健康診査の受診者がほとんどいない。	受診率向上の取り組み強化
	占冠村	◎						成人歯科の受診率が少ない。(R5受診率6.6%)歯・口腔ケアに関心がある者が少ない。	受診勧奨の取組み継続
	保健所	○						定期的な歯科検診の必要性に関する普及啓発や市町村での歯周疾患検診の実施等働きかけが必要です。	歯科保健に関する検診について普及啓発を図ります。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

07 がん

1 主な取組の内容等

主な取組(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
〇がん予防のための普及啓発やがん検診の受診率の向上	富良野市	◎						がん検診の受診率はいずれも目標値に達していない。	個別案内、広報・ラジオ・HP等でがん検診の必要性を理解できるような普及啓発。 該当者への子宮がん・乳がん検診の無料クーポン送付。
	上富良野町	◎						町のがん検診目標受診率未達成です。	・がん検診経年表の活用し、住民自身ががん検診の必要性を理解し正しい受診間隔で継続して受診できるよう受診勧奨する。 ・無料クーポン券の配布する。 ・正しい検診内容の普及啓発する。
	中富良野町	◎						がん受診率が目標値に達していない。	早期発見・早期医療に向け、がん検診受診率向上を目指し、過去の受診歴を活用し、受診勧奨・普及啓発を実施する。
	南富良野町	◎						特に課題はない。	現行の事業を継続する。
	占冠村	◎						各がん検診の受診率があがらない	受診可能な医療機関は限られているが、受診行動に結びつくよう受診勧奨を行う。
	富良野医師会	○						特に課題はない	現行の取組を継続する。
	中富良野商工会 南富良野町商工会	○						喫煙率が国・同規模自治体と比較して高い。	がんと生活習慣との関連について、役場と連携して普及活動を行います。
●たばこ対策の啓発	富良野市	◎						引き続きがん検診の受診に関する周知やがんの危険因子である喫煙に関する普及啓発を行う必要があります。	関係機関と連携したがん検診の周知・普及やがん予防のための普及啓発、受動喫煙防止対策を推進する。
	上富良野町	◎						妊婦中の喫煙率が国の現状値より高値。	母子手帳交付時、乳幼児健診の保健事業において禁煙の助言や情報提供。
	中富良野町	◎						40歳代の喫煙率が高い状況です。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知する。
	占冠村	◎						喫煙率が国・同規模自治体と比較して高い状況です。	健診や保健指導時に、喫煙の保健指導を実施する。また、タバコ対策の普及啓発や、受動喫煙防止対策を推進する。
	上富良野町教育委員会	◎						KDBデータ(R5)喫煙率15%と国よりも1%多い。	受動喫煙防止のための教室を継続していく。
	富良野市	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	富良野市	◎						喫煙者の該当比が男女とも全国より高い。喫煙が及ぼす健康への影響など喫煙に関する普及啓発や受動喫煙防止等の対策が必要です。	健康影響に関する普及啓発や望まない受動喫煙防止対策を推進します。
●栄養・食生活改善などの対策	富良野市	◎						妊婦・成人の肥満、肥満傾向のこどもの割合が高い	健康診査・特定健診結果に基づいた栄養指導の実施
	上富良野町	◎						メタボ、肥満該当者が多い。	・個々の特定健診結果に基づき、医療機関と連携した糖尿病重症化予防に向けた継続した保健指導を実施する。 ・活動量に見合った食の摂り方の保健指導を行います。
	中富良野町	◎						がんには、生活習慣病の関連や食生活の背景の影響が考えられる。	各種健診・検診、相談時にがんリスクを高める食習慣等について保健指導を実施する。
	占冠村	◎						メタボ及びメタボ予備群が多く、高血圧有病者が多い。	保健指導や啓発活動を通して、減塩対策や糖質・脂質摂取過多についての予防対策を行う。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	富良野市	◎						肥満・高血圧の割合が多いことから、バランスのとれた食事、適切な量と質に関する普及啓発やほっかいどうヘルスサポートレストランの登録増加等、環境整備の充実を図ります。	バランスのとれた食事、適切な量と質に関する普及啓発やほっかいどうヘルスサポートレストランの登録増加等、環境整備の充実を図ります。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

08 循環器疾患

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
●栄養・食生活改善などの対策	富良野市	◎						妊婦・成人の肥満、肥満傾向のこどもの割合が高い	健康診査・特定健診結果に基づいた栄養指導の実施
	上富良野町	◎						メタボ、肥満該当者が多い。	・個々の特定健診結果に基づき、継続した保健指導を実施する。 ・活動量に見合った食の摂り方の保健指導を行います。
	中富良野町	◎						若年層のメタボや肥満の割合が増加しており、食育策の影響が考えられる。	データヘルス計画に基づき、循環器疾患の発症・重症化予防を行う。食生活の背景について実態把握を実施する。
	占冠村	◎						メタボ及びメタボ予備群が多く、高血圧有病者が多い。	保健指導や啓発活動を通して、減塩対策や糖質・脂質摂取過多についての予防対策を行う。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	保健所	◎						肥満、高血圧の割合が高い、バランスのとれた食事、適切な量と質について普及啓発していく必要があります。	バランスのとれた食事、適切な量と質に関する普及啓発やほっかいどうヘルサポート・レストランの登録増加等、環境整備の充実を図ります。
●身体活動・運動習慣定着化の推進	富良野市	◎						男性の30歳代と女性の20～50歳代の平均歩数は全国平均を下回っている。	ふるの健康ポイント事業を活用しながら運動習慣の定着を図る。
	上富良野町	◎						メタボ、肥満該当者が多い。	・データヘルス計画に基づき、対象者に保健指導・栄養指導を行います。 ・年間を通じ日常生活の中で無理なくできる身体の動かし方を指導する。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)1日30分以上の運動なし57.0%と、運動習慣のない者が半数以上いる。	運動の必要性について、啓蒙活動を行う。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	保健所	◎						肥満者の該当比が高く、日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けて普及啓発していく必要があります。	日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けた普及啓発を行います。
	●たばこ対策の啓発	富良野市	◎						妊婦中の喫煙率が国の現状値より高値。
上富良野町		◎						40歳代の喫煙率が高い。	・個々の特定健診結果に基づき、喫煙との関連について保健指導を実施する。
中富良野町		○						受動喫煙防止対策を実施する。	広報などを通じて、喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を行う。
占冠村		◎						KDBデータ(R5)喫煙率15.1%と国よりも1%多い。	受動喫煙防止のための教室を継続していく。
上富良野町教育委員会		◎						特に課題はない	現行事業を継続する
保健所		◎						喫煙者の該当比が男女とも全国より高い。喫煙が及ぼす健康への影響など喫煙に関する普及啓発や受動喫煙防止等の対策が必要である。	望まない受動喫煙防止対策を推進します。ほっかいどうきれいな空気の施設登録推進を図ります。
○特定健康診査・特定保健指導の実施	富良野市	◎						40～50歳代の特定健診の受診率が低い。	特定健診受診率向上のため、健診内容の充実。
	上富良野町	◎						特定健康診査40～50歳代の健診受診者の増加させる。	・特定健診受診動向と未受診者の実態把握をする。 ・個々の健診結果に基づいた重症化予防の保健指導を行う。 ・動脈硬化予防健診を実施する。
	中富良野町	◎						特定健康診査の40～50歳代の受診率が低迷している。	特定健診の受診者が低下している要因分析を行う。健診受診者に発症予防と重症化予防の保健指導を実施し、動脈硬化を予防する。
	南富良野町	◎						特定保健指導実施率の低下	特定保健指導の徹底
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)受診率55.8%、保健指導実施率57.1%と伸び悩んでいる。	国保ヘルスアップ事業を活用し、受診率向上を目指す
	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	健診受診率向上に向け今後も情報提供をする。
○富良野圏域・地域圏域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査の充実など循環器疾患対策の推進	南富良野町	◎						脳血管疾患の入院医療費が他の保険者に比べ高い	Ⅱ・Ⅲ度高血圧のに対する保健指導の徹底
	占冠村	○						協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診利用者が少ない。	協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診を実施を継続。
	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	健診受診率向上に向け今後も情報提供をする。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

09 糖尿病

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
●特定健康診査・特定保健指導の実施	富良野市	◎						40～50歳代の特定健康診査の受診率が低い。	特定健康診査受診率向上のため、健診内容の充実。
	上富良野町	◎						特定健康診査40～50歳代の健康診査受診者を増加させる。	特定健康診査受診率向上と受診者の実施把握を行います。様々な健診結果に基づいた重症化予防の保健指導を行います。動脈硬化予防健診を実施する。
	中富良野町	◎						レセプトで糖尿病治療中者6割が健診未受診であるため重症化対象者が未把握である。	糖尿病管理台帳で対象者を明確化し、受診勧奨を実施し、糖尿病の発症予防と重症化予防を行う。
	占冠村	◎						メタボ及びメタボ予備群が多く、高血圧有病者が多い。	保健指導や啓発活動を通して、減塩対策や糖質・脂質摂取過多についての予防対策を行う。
	南富良野町 商工会	◎							
●栄養・食生活改善などの対策	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	健診受診率向上に向け今後も情報提供をする。
	富良野市	◎						妊娠・成人の肥満、肥満傾向のこどもの割合が高い。	健康診査・特定健診結果に基づいた栄養指導の実施
	上富良野町	◎						メタボ、肥満該当者が多い。	様々な特定健診結果に基づき、医療機関と連携した糖尿病重症化予防に向けた継続した保健指導を実施する。活動量に合わせた食事の切り替えの指導を行います。
	中富良野町	◎						肥満と高血圧や糖尿病等のリスクの重なりがある者が多い。	デジタルス計画に基づき、医療機関と連携した糖尿病性腎症重症化予防に向けた保健指導を実施する。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)1日30分以上の運動なし57.0%、運動習慣のない者が半数以上いる。	運動の必要性について、啓発活動を行う。
●身体活動・運動習慣定着化の推進	上富良野町 教育委員会	◎						特になし	銀行の事業を継続する。
	中富良野町 商工会	○						国・関係機関と連携して肥満が多い。	糖尿病と生活習慣との関連について、役場と連携して普及活動を行います。
	南富良野町 商工会	○							
	保健所	◎						糖尿病のリスクがある者・肥満者の該当率が高い。バランスのとれた食事、適切な量と旨さについて普及啓発していく必要が多数あります。	バランスのとれた食事、適切な量と旨さに関する普及啓発や「なかいぶ」ヘルシーポイントレストランの登録増進等、環境整備の充実を図ります。また、関係機関と連携を図りながら推進します。
	富良野市	◎						男性の30歳代と女性の30～50歳代の平均歩数は全国平均を下回っている。	ふらの健康ポイント事業を活用しながら運動習慣の定着を図る。
○富良野圏域地域・圏域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査の充実など糖尿病対策の推進	上富良野町	◎						メタボ、肥満該当者が多い。	「データヘルス計画」に基づき、対象者に保健指導・栄養指導を行います。年間を通じ日常生活の中で無理なくできる身体の動かし方を指導する。
	中富良野町	◎						糖尿病に限らず、身体活動や運動習慣の低下が見られる。	運動や休みのメカニズムについて情報提供し、活動や運動を実施できるような保健指導を行う。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)喫煙率15.1%と県よりも1%多い。	受動喫煙防止のための教室を継続していく。
	上富良野町 教育委員会	◎						特になし	銀行の事業を継続する。
	保健所	◎						糖尿病のリスクがある者・肥満者の該当率が高い。日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けて普及啓発していく必要が多数あります。	日常生活での身体活動、運動習慣の定着に向けた普及啓発を行っています。
○富良野圏域地域・圏域連携推進連絡会を活用した普及啓発、特定健康診査の充実など糖尿病対策の推進	富良野市	○						協会けんぽ被扶養者への特定健診・がん検診の届出。	連絡会を活用した健診の周知等について検討。
	南富良野町	◎						特定保健指導実施率の低下	特定保健指導の徹底
	占冠村	○						協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診利用者が少ない。	協会けんぽ被扶養者39歳以下の健診を実施を継続。
	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	健診受診率向上に向け今後も情報提供をする。
	○糖尿病治療継続者への支援	富良野市	◎					医療機関との連携が不十分。	糖尿病連携手帳を活用し医療機関と連携。腎症重症化ハイリスク者、血糖コントロール不良者への保健指導・栄養指導の継続。
上富良野町	◎						HbA1c7.0以上の糖尿病コントロール不良者の改善する。	特定健診結果に基づき医療機関と連携した糖尿病重症化予防に向けた継続した保健指導を実施する。	
中富良野町	◎						コントロール不良者に治療中の者が多い。	デジタルス計画に基づき、医療機関と連携した糖尿病性腎症重症化予防に向けた保健指導を実施する。	
南富良野町	◎						腎不全の入院医療費が他の保険者に比べ高い。	HbA1c6.5%以上の者に対する保健指導の徹底	
占冠村	◎						健診を受診していないコントロール不良者は把握できているが、十分な介入ができていない。	検査結果の情報提供を求め、本人へアプローチしていく。	
保健所	○						市町村では糖尿病管理台帳等が整備され実施されている。	直接的な事業はないため、市町村保健活動支援等を通して必要な支援を検討を行う。	

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

10 COPD(慢性閉塞性肺疾患)

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
OCOPDIに関する普及啓発	富良野市	○						妊娠中の喫煙率が国の現状値より高値。	各種保健事業の中でCOPDについて情報提供
	上富良野町	◎						40歳代の喫煙率が高い。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知を行います。 ・特定健診時に75歳未満の喫煙者に対してスパイロ測定、測定結果に基づいた保健指導をおこなう。
	中富良野町	◎						喫煙率が国、同規模自治体と比較高い。	COPDの主な発症要因であるたばこ対策を推進し、特定健康診査、保健指導での指導や情報提供、普及啓発を行います。
	南富良野町	◎						標準的な健診・保健指導プログラム、標準的な質問票「現在、たばこを習慣的にすっていますか」の割合が北海道比が高い。	健診会場にてスパイロ検査を実施
	占冠村	◎						受動喫煙対策が不十分(施設の敷地内禁煙になっていない)	普及啓発の取組みを継続
	保健所	◎						COPDの危険因子である喫煙に関する普及啓発を行う必要があります。	COPD予防のための普及啓発、受動喫煙防止対策を推進します。
●特定健康診査・特定保健指導の実施	富良野市	◎						40～50歳代の特定健診の受診率が低い。	特定健診受診率向上のため、健診内容の充実。
	上富良野町	◎						40歳代の喫煙率が高い。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知を行います。 ・特定健診時に75歳未満の喫煙者に対してスパイロ測定、測定結果に基づいた保健指導を行います。
	中富良野町	◎						喫煙率が国、同規模自治体と比較高い。	健診や保健指導時に、喫煙の保健指導を実施する。また、たばこ対策の普及啓発や、受動喫煙防止対策を推進する。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)受診率55.8%、保健指導実施率57.1%と伸び悩んでいる。	国保ヘルスアップ事業を活用し、受診率向上を目指す
	保健所	○						市町村が実施する健診・相談一覧表を事業所へ配布し情報提供しています。	健診受診率向上に向け今後も情報提供します。
●たばこ対策の推進	富良野市	◎						妊娠中の喫煙率が国の現状値より高値。	母子手帳交付時、乳幼児健診の保健事業において禁煙の助言や情報提供。
	上富良野町	◎						40歳代の喫煙率が高い。	・特定健診、がん検診時に喫煙が及ぼす身体への影響、喫煙の効果等の周知を行います。
	中富良野町	◎						受動喫煙防止対策を実施する。	広報などを通じて、喫煙が及ぼす健康への影響について普及啓発を行う。
	占冠村	◎						KDBデータ(R5)喫煙率15.1%と国よりも1%多い。	受動喫煙防止のための教室を継続していく。
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。
	上富良野町商工会	◎							
	保健所	◎						喫煙者の該当比が男女とも全国より高い。喫煙が及ぼす健康への影響など喫煙に関する普及啓発や受動喫煙防止等の対策が必要です。	望まない受動喫煙防止対策を推進します。ほっかいどうきれいな空気の施設登録推進を図ります。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

11 こころの健康

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性	
		R6	R7	R8	R9	R10	R11			
○精神保健相談の窓口の周知及び相談体制の充実	富良野市	○						特になし	保健所の「こころの相談」の紹介等情報提供 相談内容によっては福祉課と連携し支援。	
	上富良野町	○						レセプト診療状況を行う。	・広報等で富良野保健所 精神保健相談の周知する。 ・こころのライブラリーを開設する。	
	中富良野町	○						うつ病などで治療中の方がどれくらいいるか把握できていない。	保健所の心の相談事業などを広報等で周知する。	
	南富良野町	○						町民への周知を実施しているが、認知度が低い。	現行の事業を継続する。	
	占冠村	○						役場相談 0件	相談窓口の周知	
	南富良野町 商工会	○								
	保健所	◎						市町村等関係機関担当者の相談対応技術の向上が望まれます。	精神保健相談に関わる研修の周知及び市町村への協力等を実施します。	
○自殺予防対策事業の推進	富良野市	○						年間の自殺者3～6人で推移	富良野市自殺対策計画の方針に基づき対策を推進	
	上富良野町	○						年間の自殺者が年間0～数人です。	・町の自殺対策計画に基づきながら、関係部署と連携しながら取り組みます。	
	南富良野町	◎						相談窓口の明確化。 相談員の育成。	地域福祉計画の中で一体的に自殺対策計画を策定済みであり計画に基づき取り組みます。	
	占冠村	◎						R6年度自殺者なし	普及啓発の取組み継続	
	上富良野町 教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。	
	南富良野町 商工会	○								
	保健所	◎						自殺予防対策の知己の体制づくりとして市町村の自殺対策計画の推進及び地域関係機関との連携づくりが必要です。	富良野地域自殺予防対策連絡会議にて、地域に必要な体制を協議し、体制づくりを行います。	
	○地域・圏域におけるメンタルヘルス対策の推進	富良野市	○						関係機関が連携したメンタルヘルス対策の推進が必要	富良野市自殺対策計画の方針に基づき対策を推進
		上富良野町	◎						年間の自殺者が年間0～数人です。	・職場や関係機関への継続した学習(心の健康講座)を実施する。
中富良野町		○						傾向はないが、数年に数人自殺がみられる。	中富良野町自殺対策計画にもとづき、自殺予防に関する普及啓発、心の健康づくりの相談体制の充実を図る。	
南富良野町		◎						特に課題はない。	現行の事業を継続する。	
占冠村		◎						R6年度自殺者なし	普及啓発の取組み継続	
上富良野町 教育委員会		◎						特になし	現行の事業を継続する。	
上富良野町 商工会		○								
南富良野町 商工会		○								
保健所		◎						働きがりのメンタルヘルスの保持・増進に対する本人及び雇用者への意識付けが必要です。	メンタルヘルスに関する情報提供や健康教育・健康相談を実施します。	

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

12 高齢者の健康

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○高齢者の交流の場の推進	富良野市	○						週1回以上の社会参加(外出・人付き合い)がない高齢者が1割を超えている。	関係部署・関係機関と連携し高齢者の社会活動への参加を推進。
	占冠村	○						通いの場(高齢者大学)の参加者減少	対象者への参加呼びかけを行う
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する
	中富良野町教育委員会	◎						高齢者大学の新入生の確保	新入生確保のため、誰でも参加できる講座開催や高齢者大学として学習日、学習活動、クラブ活動のほか、大学祭、他大学との交流事業などの課外活動の周知を図る。
	占冠村	◎						高齢者大学において交流を深めている。	現行の事業を継続する。
	保健所	○						市町村が介護予防事業や生活体制基盤事業等を実施し、外出や交流、社会参加の機会は推進されているが、移動支援の需要が増えています。	地域リハビリテーション活動と連携して、通いの場を中心に介護予防(特にポリューションアプローチ)が重要です。保健所は、介護予防・地域包括ケア事業の支援を通じて取組を推進します。
○体重管理・低栄養予防	富良野市	◎						低栄養の高齢者に対する適切な栄養指導の実施。	低栄養の高齢者に対する栄養指導を実施。
	上富良野町	◎						筋肉量低下者、サルコペニア肥満者が3割となっています。	・サルコペニア重症化予防事業の実施を継続する。 ・サルコペニア該当者等を対象にした保健指導を行います。
	中富良野町	◎						高齢者において、肥満の割合が全国と比較して高い。	高齢者の健康課題を明らかにし、重症化予防対象者を明らかにし、個別の保健指導・栄養指導を実施する。
	南富良野町	◎						BMI25以上の割合が北海道より多い	現行の事業を継続する。
	占冠村	◎						低栄養対象者 9人、うち介護保険新規申請者1人であった	低栄養対策の継続
	保健所	○						高齢者のと特性を踏まえ、体重や筋肉量の減少を主因とした低栄養改善の健康支援が必要です。	かかりつけ医と連携した個別支援(ハイスコアアプローチ)が重要です。保健所は、介護予防・地域包括ケア事業の支援を通じて取組を推進します。
○歯の喪失防止と口腔機能の維持・向上	富良野市	◎						歯周病検診の受診率が低い。	歯周病検診の周知と受診勧奨。
	中富良野町	○						歯周疾患検診の受診率の向上が課題。	歯周疾患検診対象者への周知と受診勧奨を行う。
	占冠村	◎						後期歯科検診受診者が少ない	歯科検診受診勧奨の継続
	保健所	○						口腔機能低下予防のための普及啓発の充実が必要です。	口腔機能低下予防、高齢者の口腔ケア・誤嚥予防等のための普及啓発を行います。
○ロコモティブシンドローム予防	富良野市	○						年々高齢化率が高くなっており、ロコモティブシンドローム、フレイル予防への取組が必要。	保健・介護一体的実施事業とフレイル状態の高齢者の継続的支援の実施。
	中富良野町	○						サルコペニア予防が必要。	高齢者の健康課題を明らかにし、重症化予防対象者を明らかにし、個別の保健指導・栄養指導を実施する。また集団へ情報発信を行う。
	占冠村	○						介護保険1号認定率19.2%、介護予防で利用できるサービスが少ない	福祉サービス・体制の見直し
	保健所	○						ロコモティブシンドローム予防、フレイル予防の普及啓発と転倒骨折予防の取組の充実が必要です。	地域リハビリテーション活動と連携した取組の継続 保健所は、介護予防・地域包括ケア事業の支援を通じて取組を推進します。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

13 健康を支え、守るための社会環境の整備

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)		取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性
		R6	R7	R8	R9	R10	R11		
○関係団体との協働した活動	富良野市	○						健康増進の増進の取組を進めるにあたり、事業の効率的な実施を図るためにも関係部署との連携が必要。	庁内関係各課及び関係機関と連携を図りながら協同し健康増進の取組を進める。
	占冠村	○						健診結果の情報提供について協議できていない	関係団体と調整する
	保健所	◎						ほっかいどうヘルスサポートレストラン・北海道のきれいな空気の施設の対象施設における登録推進が必要です。	所内連携による事業者への登録勧奨や市町村をはじめ関係機関・団体と連携しながら事業周知を行います。

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)

「富良野圏域健康づくり事業行動計画」の推進状況【令和6年度】

14 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

1 主な取組の内容等

取組の内容(●再掲)	取組機関	取組の有無(◎主体、○連携、協働)						課題	今後の方向性	
		R6	R7	R8	R9	R10	R11			
○子どもの適正な食習慣や運動習慣の確立の推進	富良野市	◎						肥満傾向のこどもの割合が高く増加傾向。	学齢期の保健指導・栄養指導の推進。	
	上富良野町	◎						学童期の肥満・やせ傾向児が多い。	・乳幼児健診、小児生活習慣病予防健診時に生活習慣病予防に向けた保健指導を実施する。 ・家庭、学校と連携して適切な生活習慣の確立を図る。	
	中富良野町	◎						各ライフステージにおいて、痩せ・肥満傾向の児が多い。	乳幼児健診・生活習慣病健診を通して、それぞれのステージに合わせた生活習慣病予防のために保健指導・栄養指導を行います。	
	南富良野町	◎						3歳児健診後の体格に関する実態が不明	実態の把握に努め、対策を講じる。	
	上富良野町教育委員会	◎						特になし	現行の事業を継続する。	
	南富良野町教育委員会	◎						保護者を含めた学校活動と連携し、各家庭での意識高揚が必要。	栄養教諭による食育の推進を図る。	
	占冠村教育委員会	◎						運動習慣の定着	検討中	
	保健所	○						市町村の健康づくり計画より肥満傾向にある幼児・児童の割合が全道・全国よりも高いです。	学校教育関係者が参集される会議等で管内の現状について共有を図ります。	
	○妊娠前・妊娠期における適正な食習慣や適正体重の維持、喫煙、飲酒習慣の改善の推進	富良野市	◎						妊婦の肥満の割合が高い、妊娠中の喫煙率が国の現状値より高値。	ライフステージに対応した栄養指導の推進。
		上富良野町	◎						適正な体重管理や基準量が摂れていない妊婦がいる。	・妊婦相談時の実施を行います。 ・体重管理グラフや食の学習資料を用いた保健指導を継続する。
中富良野町		◎						痩せ・肥満の妊婦が見られる。	妊婦健診・乳児健診を通して、それぞれのステージに合わせた生活習慣病予防のために保健指導・栄養指導を行います。	
南富良野町		◎						特に課題はない	現行の事業を継続する。	
保健所		○						低出生体重児の割合が増加しており妊娠前・妊娠期の適正体重の維持が必要です。	妊娠糖尿病妊婦の支援について、市町村と医療機関との情報交換を実施します。	

※取組の有無をセルのプルダウンより選択してください。(主体での取組は◎、連携、協働での取組は○、取組がない場合は空欄)